

2022年度全国高校野球OBクラブ連合理事会（第3回）

日 時： 2022年10月22日（土）12：00～15：30
場 所： ポートピアホテル（南館B1F ダイヤモンド）
出席者： 戒能、前崎、高山、小川、北野、長ヶ原
欠席者： 宝槻
事務局： 彦次、松崎、乾、三浦、塩川

議 題：

- 1) 2022年度全国高校野球OBクラブ連合事業報告
 - 資料1-1：全国高校野球OBクラブ連合加盟校一覧
 - 資料1-2：マスターズ甲子園2022本大会概要
 - 資料1-3：マスターズ甲子園2022新型コロナウイルス感染対策大会ガイドライン
- 2) 2023年度全国高校野球OBクラブ連合事業計画
 - 資料2-1：2021-2023シリーズ
 - 資料2-2：マスターズ甲子園2023大会概要
 - 資料2-3：マスターズ甲子園2023追加枠募集結果
 - 資料2-4：マスターズ甲子園2023追加枠抽選方法
 - 資料2-5：マスターズ甲子園2023ブロック枠
 - 資料2-6：マスターズ甲子園2023ブロック枠募集結果
 - 資料2-7：マスターズ甲子園2023ブロック枠予選計画
- 3) マスターズ甲子園次期シリーズについて
 - 資料3-1：マスターズ甲子園2024-2026シリーズ案
- 4) その他
 - 補足資料：2022年度全国高校野球OBクラブ連合出欠者一覧

議事録

12：05より長ヶ原理事長（以下、理事長と称す）の挨拶と次第内容および理事出欠者の確認により開会

議題1) 2022年度全国高校野球OBクラブ連合事業報告

理事長より資料1-1に基づき、全国高校野球OBクラブ連合加盟校総数および加盟都道府県について説明された。

理事長より資料1-2に基づき、マスターズ甲子園2022（第19回大会）の代表OB校・各種プログラムについて説明された。各種プログラムの説明において、マスターズ甲子園2021（第18回大会）との変更点として、有観客、一般ボランティア募集、甲子園

CBの実施について報告された。

資料1-3に基づき、新型コロナウイルス感染対策および安全対策における大会ガイドラインの審議が行われ、各理事の協議の結果、甲子園に入場する出場チーム関係者と大会運営関係者は3回のワクチン接種または大会開催前にPCR検査を受け、検査結果が陰性（11月12日以降採取の結果）である必要がある旨が承認された。

議題2) 2023年度全国高校野球OBクラブ連合事業計画

理事長より資料2-1、2-2に基づき、マスターズ甲子園2023（第20回記念大会・全国高校野球OBトーナメント）の各種プログラムおよび追加枠、大会ブロック枠について説明された。

理事長より資料2-3に基づき、現時点でマスターズ甲子園2023（第20回記念大会）の追加枠14枠に対して18リーグからの応募があり、このうち高知県リーグはこれまでマスターズ甲子園本大会に出場していない新規の都道府県であることから、優先的に追加枠が確定される旨が報告された。

理事長より資料2-4に基づき、大会追加枠の抽選方法における抽選票数について説明された。抽選票数の基準は、各都道府県リーグ加盟OB校数あたり1~5票までの配分と、各都道府県における高校野球連盟加盟校数に対するOBチーム数の割合によって加算される（60%以上1票）。理事長よりマスターズ甲子園2023追加枠申請リーグではいずれも60%未満であったため、追加票数は変動なしとの旨が報告された。

理事長より資料2-5に基づき、マスターズ甲子園2023ブロック枠および全国高校野球OBトーナメントについて説明された。全国高校野球OBクラブ連合加盟の都道府県リーグより各代表1チームを選出し、代表チームによる6地区でのブロック大会においてブロック枠代表チームを確定する。引き続き、マスターズ甲子園2023第20回記念大会特別プログラムとして、各ブロック代表チームによる東日本・西日本大会をそれぞれ開催し、東西1位から3位までを確定し、甲子園本大会において東西3位、2位、1位同士が試合を行い、全国高校野球OBクラブ連合加盟チャンピオンチームを決定するプログラムであることが再確認された。理事長より、ブロック枠の予選・本大会においては全国高校野球OBクラブ連合に加盟する1チーム以上の登録を都道府県大会の開催条件とすることが説明された。

各理事より資料2-6に基づき、マスターズ甲子園2023ブロック枠（全国高校野球OBトーナメント）予選開催都道府県について報告された。

理事長より、北海道・東北ブロックは北海道、岩手県、秋田県、福島県の4リーグが参加することが報告された。山形県は現時点でブロック枠は不参加であるが、マスターズ甲子園2024追加枠申請を目指して活動するという旨で報告された。

高山理事より、関東ブロックは群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、の5リーグが参加することが報告された。6月には関東ブロック大会を開催し、代表校を確定する予定

であることが確認された。千葉県は加盟校数1校であり、関東ブロック大会での試合方法および大会運営については引き続き高山理事と代表者間で検討する旨が報告された。

小川理事より、北信越・東海ブロックは富山県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県の6リーグが参加することが報告された。静岡県は3チームの加盟校のうち、交流試合の実績などから2チームがブロック大会へ参加することが報告された。

北野監事より、近畿ブロックは滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の8リーグが参加することが報告された。北野監事より、滋賀県、京都府のリーグ加盟校数についての動向が報告され、8校加盟を目指して積極的な姿勢であることが共有された。和歌山県で近畿ブロック大会開催予定である旨が報告された。

戒能理事より、中国・四国ブロックは、島根県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県の5リーグが参加することが報告された。愛媛県で中国・四国ブロック大会を2日間で開催予定である旨が報告された。

前崎理事より、九州・沖縄ブロックは佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県の6リーグが参加することが報告された。佐賀県、大分県は加盟校数がそれぞれ4校、2校と少数ながら、これまでの九州大会参加の実績から、マスターズ甲子園2023ブロック枠へ参加する旨が報告された。

理事長より、各地区ブロックにおける総計620校が全国高校野球OBトーナメントに参加することが確認された。2022年度全国高校野球OBクラブ連合総会までに各参加校の34歳以下、35歳以上のそれぞれ選手数の概算し、参加都道府県数、参加校数、参加選手数を把握したうえで資料の作成、発表を行う予定であることが確認された。

各理事より資料2-7に基づき、マスターズ甲子園2023ブロック大会（全国高校野球OBトーナメント）および東西日本大会の予算についての報告が行われた。

理事長より、東北・北海道ブロックについて、8月5日（土）開催（6日予備日）予定とし、大会予算は¥203,854であることが報告された。小川理事より大会使用試合球の購入についての指摘を受け、各ブロック希望試合球数を事前確認したうえで、マスターズ甲子園大会事務局が一括発注し、各ブロック大会予算から購入、各ブロックへ送付する旨で一致した。

高山理事より、関東ブロックについて、6月関東ブロック大会を開催予定とし、大会予算は4案のうち、¥266,000の予算案を採用することが報告された。

小川理事より、北信越・東海ブロックについて、試合球、予定球場使用料、予備費についての調整を行い、大会予算として¥250,000程度で再度計上する旨が報告された。2022年度全国高校野球OBクラブ連合総会までに大会期間等の調整を行い、大会詳細を発表することで一致した。

北野監事より、近畿ブロックについて、8月中の2日間、和歌山県紀三井寺公園野球場を使用予定として開催する旨が報告された。近畿ブロック6県による代表校に加え、2022年度近畿ブロック大会優勝校を含む計7校によるトーナメントが行われ、大会予算は

¥370,000 と報告された。

戒能理事より、中国・四国ブロックについて、8月12日（土）開催（13日予備日）予定とし、試合球、予定球場使用料についての調整を行い、大会予算として¥250,000程度で再計上する旨が報告された。

前崎理事より、九州・沖縄ブロックについて、8月11日（金）、8月12日（土）開催（13日予備日）予定とし、現状の予算から雨天時の考慮、試合球、パンフレット作製費等の再度予算計上を行い、大会予算は¥400,000程度で再計上する旨が報告された。

高山理事より、東日本大会について、8月27日（日）（9月3日予備日）、保土ヶ谷球場にて開催予定とし、大会予算は¥220,000であることが報告された。8月26日（土）に前夜祭が開催されることも併せて報告され、予算の中に含まれることが説明された。

北野監事より、西日本大会について、9月2日（土）（9月3日予備日）、和歌山県宮紀三井寺公園野球場にて開催予定とし、大会予算は¥195,000であることが報告された。

議題3）マスタース甲子園次期シリーズ

理事長より資料3-1に基づき、2024—2026シリーズおよび3年シリーズ制度について説明された。各理事らによりマスタース甲子園2026（第23回大会）におけるブロック枠の運営方法および企画についての協議が行われた。協議の結果、2022年度全国高校野球OBクラブ連合総会では、マスタース甲子園2026ブロック枠は現行のブロック枠を基本にした各ブロック自主開催とし、今後の理事会で継続して運営方法、企画について議論していくと発表することで一致した。

議題4）マスタース甲子園2023ブロック枠予選大会試合規則（案）

理事長よりマスタース甲子園2023ブロック枠予選大会試合規則（案）について、第10回記念大会時の試合規則からの変更点および規定を適用する大会規模について説明された。ブロック枠予選大会（トーナメント）および東西日本大会（総当たり戦）は特別試合規定として予選大会試合規則を採用し、本大会では現行の本大会規則に則ることが確認された。高山理事より、9イニング制、もしくは2時間（120分）の時間制となること、試合中の経過時間による34歳以下、35歳以上チームの入れ替え、タイブレイク方式について説明された。各理事らの協議の結果、タイブレイク時の投手規定について、「タイブレイク時は最終イニングの投手が継続して3イニング目を投げてよい」ことを明記することが了承され、ブロック枠予選大会の試合規則に追記することで全会一致した。追記する詳細内容については理事会で引き続き審議することが確認された。これをもって、マスタース甲子園2023ブロック枠予選大会試合規則は承認された。

以上をもって議案の審議が終了し、理事長により15：46に散会